

## マリン・エコラベル・ジャパン養殖認証 Ver.2.0 への移行に関する Q&amp;A

(公社)日本水産資源保護協会

## ○Ver.2.0 受審のタイミング関すること

Q1	Ver.1.0の有効期限が残っているタイミングで Ver.2.0 に移行した場合どうなりますか？
A	Ver.1.0の残りの期限は消滅します。Ver.2.0に移行すると、新たに3年間の有効期限が付与されます。

Q2	Ver.2.0への移行の審査にかかる費用はどれくらいですか
A	更新審査扱いとなりますので、初回審査の概ね90%程度となります。料金体系変更等により金額が変わることがありますので、お見積りご依頼は「問い合わせ先」まで。

Q3	Ver.1.0が終了までの間に、Ver.2.0 移行のための審査が完了しなかった場合はどうなりますか？
A	<p>*HPの「認証実績」は「審査中」の表示とさせていただきます。 (<a href="http://www.fish-jfrca.jp/04/progress_and_results.html">http://www.fish-jfrca.jp/04/progress_and_results.html</a>)</p> <p>*Ver.2.0の現地審査を受けていることを条件に、審査完了までの間ロゴマークは使用できますが、不適合が検出されるなど審査時に移行が難しいと想定される場合は、Ver.2.0に移行しない場合(Q4)と同様の扱いになります。</p>

Q4	Ver1.0から2.0に移行しなかった場合はどうなりますか？
A	<p>Ver1.0の有効期限の残りに関わらず、2025年7月31日に認証は終了となります。</p> <p>ロゴマークは在庫に限り、2025年10月31日まで使用できます。(MEL協議会の『ロゴマーク使用・管理規程およびロゴマーク使用契約』に基づく。)</p>

## ○モイストペレット(MP)の使用に関すること

Q5	育成期に継続的にMPを使用している、とはどのような状態ですか？
A	<p>育成期とは稚魚、幼魚を池入れして水揚げするまでの期間を指します。</p> <p>育成期であっても、例外使用は認められておりますので、詳細は『適合の判定基準(審査の手引き)養殖認証規格 Version 2.0』 P32 基準 4.2.3 の解説をご確認ください。</p>

Q6	カンパチなど、現在の飼育技術・配合飼料の技術で固形配合飼料の使用が難しい魚種はどうすればいいですか？
A	2025年7月31日までに固形配合飼料へ転換する移行計画を立て、その内容が適切であると認められた場合には、条件付き適合として Ver.2.0 を取得することができます。

Q7	固形配合飼料への転換までの移行計画とはどのような内容ですか？ またいつまでに移行計画を提出すればいいですか？
A	<p>* 移行計画では具体的な計画を提示してください(タイムスケジュール、どの範囲・規模で、固形配合飼料使用率の推移の計画等。)</p> <p>※『適合の判定基準』付属書2(MEL養殖規格 Ver.2.0 への移行措置)を参照してください。</p> <p>※年次審査の際に、移行計画の実施状況を確認します。</p> <p>* 移行計画は Ver.2.0 の申請書提出時に添付資料として添付してください。</p>

Q8	品質向上を目的に、MP を1か月以上使用している場合はどうしたらいいですか？
A	<p>1ヶ月を超えて使用が必要であることを示す明確な資料(例、脂肪含量、目的とする成分の測定値、官能検査の結果等)を提示してください。内容は MEL 協議会と協議の上、可否を判定します。</p> <p>* 資料は Ver.2.0 の申請書提出時に添付資料として添付してください。</p>

#### ○Ver.2.0 の申請に関すること

Q9	Ver.2.0 申請の案内は個別に来ますか？
A	<p>個別には差し上げませんが、各事業者さまの年次・更新審査の概ね2カ月前に、年次・更新審査のご案内を差し上げますので、移行のための審査受審タイミングの目安としてください。</p> <p>* HP の「認証実績」で確認の次回年次審査期限がご確認いただけます。 (<a href="http://www.fish-jfrca.jp/04/progress_and_results.html">http://www.fish-jfrca.jp/04/progress_and_results.html</a>)</p> <p>* 更新審査期限は、認証の有効期限の2カ月前となります。</p>

Q10	Ver.2.0 による審査を申し込みたい場合はどうすればいいですか？
A	<p>弊協会 HP より申請書をダウンロードの上、必要書類を添付してお申し込みください。 (<a href="http://www.fish-jfrca.jp/04/procedure_and_application.html">http://www.fish-jfrca.jp/04/procedure_and_application.html</a>)</p>

#### ○ロゴマークに関すること

Q11	ロゴマークの使用について留意すべき点はありますか。
A	Ver.2.0 への移行が完了した場合、認証番号が変更となります。

#### ○問合せ先○

公益社団法人日本水産資源保護協会

E-mail:[mel-info@fish-jfrca.jp](mailto:mel-info@fish-jfrca.jp)